

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年12月6日 (2018.12.6)

【公開番号】特開2017-76989(P2017-76989A)

【公開日】平成29年4月20日 (2017.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-016

【出願番号】特願2016-217437(P2016-217437)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

H 0 4 W 24/10 (2009.01)

H 0 4 W 16/28 (2009.01)

H 0 4 B 17/24 (2015.01)

H 0 4 B 17/309 (2015.01)

H 0 4 J 99/00 (2009.01)

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/12 1 3 0

H 0 4 W 24/10

H 0 4 W 16/28 1 3 0

H 0 4 B 17/24

H 0 4 B 17/309

H 0 4 J 15/00

H 0 4 L 27/26 1 1 4

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年10月12日 (2018.10.12)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 3 】

したがって、ある設計では、C S I - R S の送信は、C S I - R S サブフレームと称される、制限された数のサブフレームに限定されうる。C S I - R S サブフレームの数は、異なるセルにわたる所望の C S I - R S 衝突率に基づいて選択されうる。例えば、前述したように、すべてのセルからの C S I - R S 送信を 同じサブフレームに制限することは、衝突の確率が高くなりうるが、U E 1 2 0 のバッテリー・パフォーマンスの向上に役立ちうる。ある設計では、C S I - R S サブフレーム・セットからのラジオ・フレーム内のページング、同期信号、または P B C H を含むサブフレーム、すなわち、F D D モードにおけるサブフレーム { 0、4、5、9 } は、これら制御信号との潜在的な干渉を回避するために、C S I - R S を伝送することから除外されうる。